

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 9 例(感染地域:千葉県 1 例、インド 2 例、エジプト 2 例、タイ 1 例、マレーシア 1 例、ペルー/ブラジル 1 例、疑似症 1 例)、腸チフス 1 例(感染地域:インド)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 4 例(うち有症者 3 例、HUS 1 例を含む)[感染地域:愛知県 2 例、千葉県 1 例、福岡県 1 例 年齢群:10 歳未満(2 例)、20 代(1 例)、30 代(1 例) 血清型・毒素型:O157 VT1・VT2 (3 例)、O157 VT2(1 例)]
- 4 類感染症: E 型肝炎 2 例(感染地域:ともに静岡県、感染経路:ともに猪レバーの生食)、デング熱 1 例(感染地域:ポリビア)、マラリア 2 例(三日熱 1 例\_\_感染地域:インドネシア、熱帯熱 1 例\_\_感染地域:ガーナ)、レジオネラ症 8 例(肺炎型 7 例、ポンティアック型 1 例)[年齢群:20 代 1 例、50 代 1 例、60 代 3 例、70 代 3 例 感染地域:岐阜県 2 例、山形県 1 例、静岡県 1 例、愛知県 1 例、熊本県 1 例(温泉)、鹿児島県 1 例、国内(都道府県不明)1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 9 例(腸管アメーバ症 6 例、腸管外アメーバ 2 例、腸管及び腸管外アメーバ症 1 例)[感染地域:国内 8 例、インドネシア 1 例 感染経路:経口 2 例、性的接触 3 例(異性間 1 例、同性間 1 例、異性間・同性間不明 1 例)、不明 4 例]、ウイルス性肝炎 1 例(B 型\_\_感染経路:カミソリの共用)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例(40 代、血清群:A 群)、後天性免疫不全症候群 11 例(無症候 9 例、AIDS 1 例、その他 1 例)[感染地域:国内 9 例、タイ 1 例、国内・国外不明 1 例 感染経路:性的接触 10 例(異性間 4 例、同性間 6 例)、不明 1 例]、髄膜炎菌性髄膜炎 1 例(感染地域:宮崎県、血清群:不明)、梅毒 6 例(早期顕症 I 期 1 例、早期顕症 II 期 3 例、無症候 2 例)、破傷風 1 例(60 代)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は微減したが、過去 5 年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では大分県(58.0)、長崎県(53.7)、新潟県(52.5)、山口県(52.2)、宮崎県(51.8)、沖縄県(50.8)、青森県(49.7)、佐賀県(48.5)が多い。

小児科定点報告疾患:RS ウイルス感染症は 357 例の報告があり、第 5 週以降報告数は減少が続いている。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の約 77%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第 9 週以降減少が続いている。都道府県別では富山県(1.21)、山形県(0.87)、島根県(0.70)が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では富山県(7.5)、北海道(4.3)、鳥取県(3.8)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(16.3)、愛媛県(13.7)、福井県(13.1)、福岡県(11.6)が多い。水痘の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では沖縄県(6.4)、宮崎県(5.4)、鹿児島県(4.3)、愛媛県(4.0)が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では宮崎県(2.1)、佐賀県(1.5)、熊本県(1.3)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では富山県(2.8)、石川県(1.9)、北海道(1.6)、長野県(1.4)が多い。百日咳の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では栃木県(0.06)、千葉県(0.05)、長野県(0.05)が多い。風しんの報告数は微減した。都道府県別では神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県から各 2 例、北海道、岩手県、山梨県、岡山県から各 1 例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山口県(0.33)、長崎県(0.23)が多い。麻しんの報告数は減少した。都道府県別では東京都 4 例、茨城県、兵庫県から各 1 例の報告があった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は 2 週連続で減少した。都道府県別では青森県(1.9)、秋田県(1.6)、新潟県(1.6)が多い。

基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去 5 年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では沖縄県(5.9)、群馬県(1.8)、大阪府(1.3)が多い。成人麻しんは 9 例の報告であり、東京都から 3 例、宮城県、埼玉県から各 2 例、神奈川県、大阪府から各 1 例の報告があった。

1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点								
	インフルエンザ	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																						
愛媛県	22.8	.2	.2	3.3	13.7	4.0	.1	.9	.7			.1		.5		2.8			.2			
近県	香川県	29.4	.4	.1	.5	8.7	2.3	.1	.1	.4			.1	.3		.3						
	徳島県	26.8	.1	.0	.8	9.2	1.3		.5	.3				.5		.3						
	高知県	17.4	.2	.1	2.5	7.2	2.1	.0	.3	.6			.0	1.4	.3	.7			.1			
全国	32.5	.1	.3	2.1	6.9	2.1	.2	.6	.5	.0	.0	.0	.0	.5	.0	.7	.0	.0	.4	.0	.0	
北海道	30.1	.3	.3	4.3	2.0	1.8	.1	1.6	.4		.0			.4		.6						
東北	31.8	.2	.4	2.0	5.0	1.7	.2	.7	.5		.0	.0		1.0	.0	.6	.0	.0	.7	.0	.0	
関東	30.3	.0	.2	2.5	6.3	1.9	.1	.5	.5	.0	.0	.0	.0	.3	.1	1.0	.0	.0	.5	.0	.1	
甲信越北陸	40.4	.1	.4	3.0	6.3	2.1	.2	1.3	.5	.0	.0	.0		.7		.6		.0	.3	.1		
東海	23.0	.1	.3	1.5	7.3	2.1	.1	.6	.5	.0	.0	.0		.4		.3	.0	.0	.5			
近畿	26.3	.1	.2	1.2	7.2	2.0	.1	.5	.4	.0	.0	.0	.0	.5	.0	.4	.0	.0	.4		.0	
中国四国	33.6	.2	.3	1.9	8.8	2.1	.1	.4	.5	.0	.0	.1		.5	.0	1.1		.0	.2	.0		
九州沖縄	47.2	.1	.2	1.8	9.5	3.3	.9	.2	.6	.0		.1		.6	.0	1.0	.0	.0	.6	.0		

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。(3月29日集計)

全国 全数把握感染症 第12週 (2007.3.19 ~ 3.25)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																								
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(9)狂犬病	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ポツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症				
第12週報告数	全 国		9	1		4	2									1					2						8	9	1				1	11		1		6	1						
	四 国	愛 媛 県		1																																									
		香 川 県																																											
		徳 島 県																																											
		高 知 県																																											
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道																																											
		東 北 関 東		4			1																1				1	3	2						5				2	1					
		甲 信 越 北 陸																										1																	
		東 海 近 畿		1			2	2																			4		2	1					5					1					
		中 国 四 国 九 州 沖 縄		2														1										1									1								
週 推 移	全 国		9	1		4	2									1					2					8	9	1				1	11		1		6	1							
	12週		9	1		4	2									1					2					8	9	1				1	11		1		6	1							
	11週		6	1		8	1		1	1																4	10		5	4		8		1		9	1			1					
	10週	1	5	1		7										2					1					2	12		2	3	1	12				5				1					
9週		10	2		17			1	1					1						1					9	9		1	2		16				8	1									
2007年累積数	全 国	3	112	8	4	150	14		38	4	7	3		1	38	10		1			1	7				85	1	167	31	45	1	38	30	268	9	3	107	12			17				
	四 国	愛 媛 県		1			4			1																		1		1		2													
		香 川 県					2						3																			1	1					3							
		徳 島 県																									1						1												
		高 知 県																										1	1		3		1												
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道		1			3	4			3											1				5	4	1		1	4	2						1				1			
		東 北 関 東	1	4	2		8			3	1					3							1			5	12	1	3	1	3	6					4					2			
		甲 信 越 北 陸		4	1		9			2						1										17	72	10	16	8	9	134	5				35	2				8			
		東 海 近 畿		17			12	6		4	1				4	1										19	18		3	4	3	39		1		20	2				2				
		中 国 四 国 九 州 沖 縄		4			32			6	1	3			4	2		1								9	6	5	3	10	2	9	1			11						1			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2007.3.29集計)